

シマフクロウ繁殖と河畔林造成、 その生態系サービスの評価および記録

〒088-2461
北海道川上郡標茶町字虹別市街2-11-1

ひろげる助成

1年目

調査研究



シマフクロウの森づくり百年事業植樹祭

イベントの延べ参加者数 **500人**植樹本数 **3,000本**今年度計画の達成度 **80%**活動の全体目標に対する達成度 **40%**

課題

シマフクロウ生息域である北海道・西別川流域において、河畔林造林、バイカモ保護活動を実施し、シマフクロウの増殖をはかる。また、生態系サービス機能を明らかにする。

目標

農林漁業が生態系サービスの恵みを享有していることを明らかにすることで、シマフクロウを象徴とした理想的な社会像、自然・人間・地域社会の共生を提示すること。

活動内容と成果

標茶町虹別に植樹活動を実施。普及啓発活動の一環として同地にてフォーラムを開催。植樹地において下草刈りを行い、エゾ鹿による食害を防ぐため電気柵を設置し、河川の清掃など定期的にメンテナンス。ふか場となる巢

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

活動地域が広範囲にわたり、冬期期間は積雪過多などの天候による制約。また、希少動物の営巣地が主としたフィールドである。

■ 工夫した点

植樹、フォーラム、セミナー、研究会など年間を通して行事を設定し、活動の周知に努めた。



箱、エサ場となる養魚場の定期管理。西別川上流域にバイカモ（清流中に生息する水草）保護網を2か所設置し、継続して定期観察。シマフクロウの生態を観察、有識者にインタビューを実施して「生態系サービス」に寄与する基礎資料を記録。植樹には約300名が参加し、約3,000本の苗木を植樹。フォーラムに63名参加。



約3,000本の苗木を植樹(5月21日)

今後の展望

北海道東の広範囲にわたる活動地域を各自自治体と協力しカバーしながら、協働団体と調査研究し、「西別川の全域にシマフクロウの声が聞こえるようにしたい」という夢の実現を住民自身の参加により実現する。